

全国学力・学習状況調査 つまずきに対する推奨したい取組【小学校・国語A】

(1) つまずきの多かった問題	(2) これから必要な指導	(3) すぐに具体的に取り組むこと	※推奨したい理由
<p>1 学級文集のタイトルを決める話合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する[3・4年]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 話合い活動で司会などの役割を果たしながら、互いの考えの共通点や相違点を整理する学習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間や特別活動での集団としての意見をまとめる話合い活動などの児童の日常生活において、授業で身に付けた力を働かせる場を多く設定する。 	<p>※国語だけでなく、他教科や各教育活動との連携を図っている。</p>
<p>3 学級新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する[3・4年]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多くの情報から必要な情報を得るために、根拠となるキーワードを的確に読み取る練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間と国語「未来の自動車—パネルディスカッションをしよう—」を教科横断的にマネジメントし、キーワードを設定して資料を読むことで、必要な情報を得ることができる体験をさせ、キーワードを用いた情報処理の便利さに気付かせる。 	<p>※教科横断的な視点で情報処理の学習を焦点化している。</p>
<p>3 学級新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する[3・4年]</p> <p>4二 グループの話合いを通して見付けた俳句のよさとして適切なものを選択する[3・4・5・6年]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて文章の中から必要な情報を見つけ、問題の文脈を読み取り、何について問われているのかを適切に把握させる。 季語の意味を理解させる。文章の要旨を捉えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明的文章で事実や理由、根拠を分類・整理する読み取りの学習を行う。言語事項は、類義語や意味の置き換えも扱う。 要旨をまとめる、表題を予想する等目的をもって文章を読む経験を積ませる。俳句や短歌は、言葉の響きや意味、作者の思いを想像して書きまとめられるようにする。 	<p>※つまずきの克服だけでなく、全ての学習の基礎となるように、国語Aの問題の意図を捉えて指導を工夫している。</p> <p>※学習の広がりを意識して指導している。</p>

【小学校・国語B】つまずきに対する推奨したい取組

(1)つまずきの多かった問題	(2)これから必要な指導	(3)すぐに具体的に取り組むこと	※推奨したい理由
<p>1三 折り紙のみりょくについて、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く[5・6年]</p> <p>2二 【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために引用する文章を、【『緑のカーテンを始めよう』の一部】から選択する[5・6年]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、構成や内容、言葉遣いを吟味したスピーチ学習を工夫する。 ・立場を明確にして、事実と感想・意見を区別し、結論付けをはっきりさせる。 ・考えの補説や説得力を高める目的意識をもたせて、引用の必要性や効果を実感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう」等でスピーチ活動を取り入れ、立場を明確に説明し、事実と感想・意見を区別して結論付けをはっきりさせる力を育む。 ○全校集会や給食、清掃活動等で、話す・聞く力の向上に向けて、全職員共通理解のもとで指導にあたる。 ○理科「地球に生きる」のレポート作成で、情報と情報の関連付けや情報を基にした説明、引用の必要性や効果を実感できるようにする。 	<p>※根拠を明らかにして思考を組み立て、表現する力を育成しようとしている。</p> <p>※国語科で育てた力を他教科のどの単元で発揮するのかを具体的に見据えている。</p> <p>※全職員で全児童を育てる意識のもと、学校教育活動全体で言葉の力を高めようとしている。</p>
<p>3二 「きつねの写真」を読んだあとの話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する[5・6年]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す力をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○12月「自然に学ぶ暮らし」でプレゼンテーションをする際、考えたことや自分の意図が分かるように話の組み立てを工夫しながら、目的や場に応じた言葉遣いを意識して話すことに取り組ませる。 ○委員会活動等、自分の立場や役割、内容に応じて適切に話すことができるように、話すことと書くことを関連づける。 <p>【評価】平成23年全国学力調査 国語B 1二 司会者の発言の意図の説明から適切なものを選択する。</p>	<p>※単元に合わせて具体的に取り組んでおり、実効性がある。</p> <p>※評価方法まで記載し、共通理解を図っている。</p> <p>※評価問題を複数準備し、11月と2月で違う問題で評価できるようにしている。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・国語に限らず様々な授業で、目的や相手を明確にして調べたことなどを発表する場を設定し、練習の様子を動画に撮るなどして、振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国語科や社会科などで、調べたことを発表する場を設定し、練習の様子を動画に撮るなどの活動を取り入れていく。グループで話し合い改善するなどの活動を行う。 	<p>※他教科との連携を図りながら学びを深めている。</p>

【小学校・算数A】つまずきに対する推奨したい取組

(1)つまずきの多かった問題	(2)これから必要な指導	(3)すぐに具体的に取り組むこと	※推奨したい理由
<p>1 (3) 60×0.4を、60×4を基にして考えるときの、正しい積の求め方を選ぶ[5年]</p> <p>2 (1) 123×52を計算する[5年]</p> <p>6 円を使って正五角形をかくとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかをかく[5年]</p> <p>8 はじめに持っていたシールの枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ[3年]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年から算数的活動を通して、言葉、数、式、図、表、グラフを用いて考えることができるようにする。 ・多様な問題場面が混合しても、数直線や図を活用して、必要に応じて的確に思考できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○レディネスチェックを大事にして個々に必要な補充を確実に行う。 ○1か月の指導計画を作成し、単元の中で、指導の軽重や時間の有効な使い方を工夫する。 ○単元名を伏せた学習プリントを家庭学習で使用して、問題場面に応じた思考が的確にできるようにする。 	<p>※つまずきをその学年に留めず、全校体制で授業改善に生かそうとする視点になっている。</p> <p>※個々に確実な力をつけることを徹底している。</p> <p>※家庭学習の「時間の長さ」だけでなく「内容の質の向上」を目指している。</p>
<p>2 (2) 10.3+4を計算する[4年]</p> <p>2 (3) 6+0.5×2を計算する[4年]</p> <p>2 (4) 5÷9を計算する[5年]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数のしくみや計算の順序についてのきまりを理解できるようにするために、具体的な場面と関連付けて確認させる。さらに、知識・技能の定着のための反復練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○パワーアップタイムの時間に、「算数つまずき問題発見集」を活用して、計算練習を行う。また、同様の問題を作成し、反復練習を行う。 ○計算結果のおよその大きさを見積もり、計算結果と見積もりを比べる活動を設定する。 	<p>※「算数つまずき問題発見集」を解くだけでなく、学校独自に、子どものつまずきに応じた問題作成に活用している。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・その単元に関わる2、3年下の学年の計算スキルを復習する。 ・加法と乗法の混合した整数と小数計算の必要性を感じ、意味を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○合理的計算方法に気づく練習を設定する。 ○÷2、÷3、÷5などの計算の念頭操作の習熟を図る。 ○小数・整数・分数の変換について練習し、習熟を図る。(例：2/3⇔40分 1/5⇔0.2 25/100⇔1/4⇔0.25 100÷4=25 0.5×4=2) → 授業開始3分でのフラッシュカードの活用 → 週・月単位、学期まとめのテストでの実施 ○11月体育科のハードル走の学習場面において、計算式に当てはめ目標タイムを求める活動を設定する。 	<p>※つまずきの克服に向けて継続して取り組んでいける実効性がある。</p> <p>※算数だけでなく、他教科や各教育活動との連携を図り、実生活における算数の有用感をもたせる活動を仕組んでいる。</p>

(1)つまずきの多かった問題	(2)これから必要な指導	(3)すぐに具体的に取り組むこと	※推奨したい理由
<p>8</p> <p>はじめに持っていたシールの枚数を□枚としたときの問題場面を表す式を選ぶ[4年]</p>	<p>・立式を含めた文章題作りに取り組んだり、習熟・定着のために文章題をより多く解く練習をしたりする。</p>	<p>○単元末の授業や家庭学習において、立式を含めた文章題作りに取り組んだり、習熟・定着のために文章題をより多く解く練習をしたりする。</p>	<p>※文章題の構成をより深く理解するために文章題づくりを授業で取り組み、より主体的な家庭学習のあり方とリンクした授業づくりをしている。</p>
<p>9 (2)</p> <p>二次元表の合計欄に入る数を書く[4年]</p>	<p>・合計欄の意味を理解し、資料を的確に分類整理できる力を育成する。</p>	<p>○委員会活動や係活動など具体的な活動を通して、二次元表にまとめる活動を全員で行う。その中で、合計欄と調査人数を比較したり、逆に合計欄を書き入れてから二次元表に分類整理したりする活動を行う。</p>	<p>※算数だけでなく、他教科や各教育活動との連携を図り、実生活における算数の有用感をもたせる活動を仕組んでいる。</p>

【小学校・算数B】つまずきに対する推奨したい取組

(1)つまずきの多かった問題	(2)これから必要な指導	(3)すぐに具体的に取り組むこと	※推奨したい理由
<p>2 (2)</p> <p>13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く[3・5年]</p>	<p>・必要な情報を選んだり、情報を解釈する必要があったりする問題に取り組む授業、日常生活の問題場面を解決する授業を実践する。</p>	<p>○カリキュラムマネジメントにより「四角形と三角形の面積」の単元の終末で、合科的な問題に重点的に取り組ませる。</p> <p>○つまずき発見問題集を週末の課題とする。</p>	<p>※単元の焦点化と、指導過程への明確な位置付けがされている。</p> <p>※家庭学習との連携を図っている。</p>
<p>3 (2)</p> <p>仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める。[4・5年]</p>	<p>・測定値の平均を工夫して求めることができるようにする。</p>	<p>○10月に実施する「単位量あたりの大きさ」の単元の中で、仮の平均の考え方について、設定した基準と数値が表す意味を、グラフや式、言葉などと関連づけながら説明する活動をする。</p>	<p>※単元名を焦点化し、文章題をより具体的にイメージし、共有する工夫を行っている。</p>
	<p>・身長、ゲームの得点等、児童の生活から問題場面をつくり、平均の活用による比較のよさを話し合わせる。</p>	<p>○理科の電磁石や振り子の学習でも平均を使う場面を設定し、よさに気付かせる。</p>	<p>※教科横断的な視点で力を付けようとしている。</p> <p>※日常生活に結びつけて数学的な考え方を働かせることができるようにしている。</p>
<p>4 (1)</p> <p>示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ[4年]</p>	<p>・グラフや表の活用を他教科とつなげる。</p> <p>・考えの根拠を筋道立てて説明する力を育成する。</p>	<p>○国語科で、調査したことを分かりやすく表すためには、どんなグラフや表が適切か考えさせる。</p> <p>○読書冊数や読んだ人数の割合等、児童の生活から割合についての問題場面を設定して考えさせる。</p>	<p>※算数の学習によって、論理的思考力・表現力を育成しようとしている。</p>
<p>5 (2)</p> <p>与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い効果を選び、選んだわけを書く[3・5年]</p>			